

令和3年度法学部編入学試験【出題の意図】

法学概論

法学の基礎をなす民法に関する基本的理解を問う問題である。権利能力平等、私的自治、所有権絶対という三原理について定義を掲げつつ、説明をなすことがまず求められる。続いて、契約締結の自由、相手方選択の自由、内容形成の自由、方式の自由という四つの契約自由の内容とその例外を示すことが必要である。最後に、契約成立の基礎をなす意思表示に関する基本的理解を示すことが求められる。

一般教養

現代の法哲学・政治哲学・憲法学等において関心が広がるプライバシー概念、特にその親密圏維持という現代的形態の諸特質について、受験者の事前学習を通じた基礎知識、学術的テキストの読解能力、それらに基づく自己表現力を問うものである。